

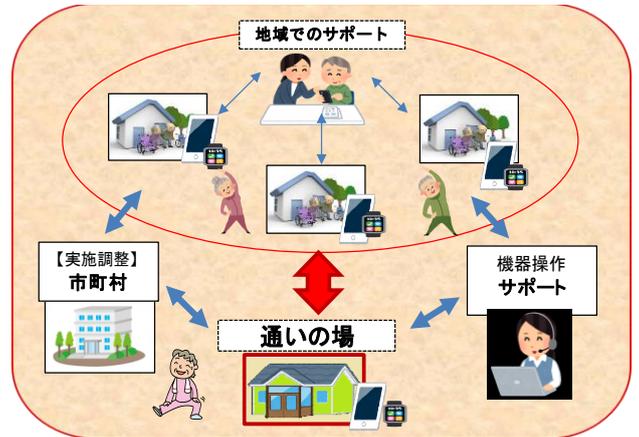
デジタルを活用した「通いの場」モデル事業について

1 趣 旨

- コロナ禍にあっても持続可能な「通いの場」の新たな運営手法を検討するとともに、高齢者がICT機器を抵抗感なく活用できる意識の醸成と活用能力の向上を図るため実施するもの。

2 事業概要

- 県内4カ所（東根市、金山町、長井市、酒田市）の「通いの場」*の参加者（各8～9名）にタブレット端末等を貸与し、各所で約2か月間実施。
- 事前に各所でサポート体制を整備し、機器操作説明会を実施。参加者は、自宅からZoomを使って、週1回の「通いの場」活動に参加。終了後に意見交換会を実施し、課題等を抽出。
- 予算額：5,429千円



※「通いの場」…住民主体で運営され、高齢者が介護予防に資する体操や趣味活動などを行う場
<全35市町村で計1,588か所設置(R2.3月時点)>

3 実施状況

- 事業の参加者は、7割以上が75歳以上の後期高齢者となった。
- 例えば、酒田市では、活動拠点としている特別養護老人ホームがコロナの影響で使用出来なくなり、休止していた「通いの場」で事業を実施し、活動再開につなげた。
- いずれも初回は、デジタル用語そのものがわからないため、不安を抱える方が多い中でのスタートであったが、回を重ねるごとに操作等に慣れ、YouTube視聴等の機能も活用する等、興味を持って取り組んでいた。
- 参加者の中には、サポートなしで自宅から参加できるようになった人もおり、今後もICT機器を使ってみたいという感想も出ていた。
- 今年度の課題等を踏まえ、次年度の事業展開につなげていく。

【各市町の参加者】

第1グループ		第2グループ	
6月～8月		9月～11月	
東根	金山	長井	酒田
9人	8人	9人	8人

※ 第2グループの参加人数は11/17現在の数

【参加者の年代】

年代	男性	女性	計
64歳以下	0	1	1
65～69歳	0	3	3
70～74歳	3	3	6
75～79歳	4	4	8
80～84歳	2	7	9
85～89歳	2	4	6
90歳以上	0	1	1
計	11	23	34

【操作説明会では、不安ながらも興味を持って操作されている方が多かった。初回は、自宅から参加する方がいる一方、集合しサポートを受けながらZoom参加する方もいた。】



以上